

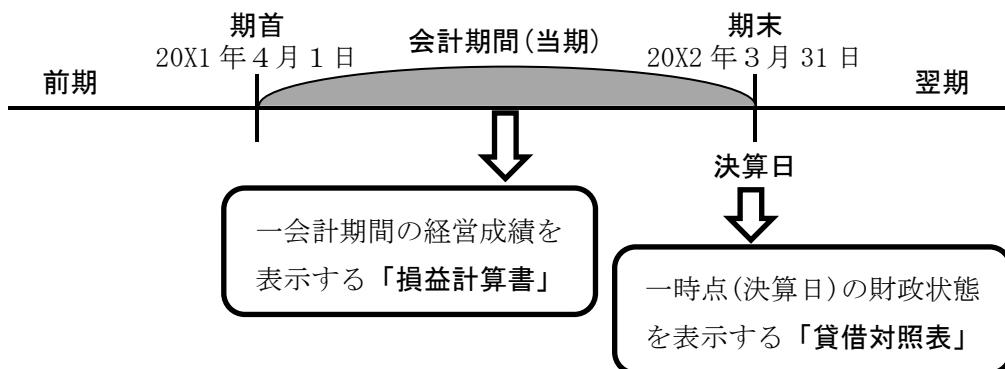
第1章 企業会計

第1項 財務会計総論

(1) 財務会計と管理会計

用語	定義
財務会計	<p>財務会計とは、外部の利害関係者に対する情報提供を目的とした会計をいい、「外部報告会計」とも呼ばれる。</p> <p>企業外部の利害関係者（ステークホルダー；株主、債権者、取引先、税務当局など）に対して、複式簿記の手法に従って企業の資本や利益を測定し、その結果を企業の経営成績および財政状態を示す財務諸表によって報告する。</p>
管理会計	<p>管理会計とは、経営者や企業内部の管理者に対する会計情報の提供を目的とした会計をいい、「内部報告会計」とも呼ばれる。</p> <p>管理会計により、経営者等に対して必要な会計情報を提供することによって、経営管理上の合理的な意思決定に役立てることができる。</p>

(2) 損益計算書と貸借対照表



a) 損益計算書 (P/L: Profit&Loss Statement)

一会计期間に獲得した成果である「収益」から、収益を獲得するための犠牲である「費用」を差し引いて、儲けである「当期純利益」を表示する。

損益計算書

20X1年4月1日～20X2年3月31日

費用	収益
当期純利益	

※損益計算書等式：費用+当期純利益=収益

	定義	勘定科目の例
収益	企業が販売した商品や役務提供の対価	売上・受取利息・受取手数料・受取家賃 雑益・固定資産売却益など
費用	収益獲得のために犠牲となったもの	仕入・売上原価・給料・旅費交通費・広告宣伝費・消耗品費・水道光熱費・通信費・支払家賃・雑費・支払手数料・支払利息など

b) 貸借対照表 (B/S : Balance Sheet)

期末に保有するプラスの財産である「資産」、マイナスの財産である「負債」、資産から負債を差し引いた正味の財産である「資本（純資産）」を表示する。

貸借対照表

20X2年3月31日現在

資産	負債
	資本（純資産）

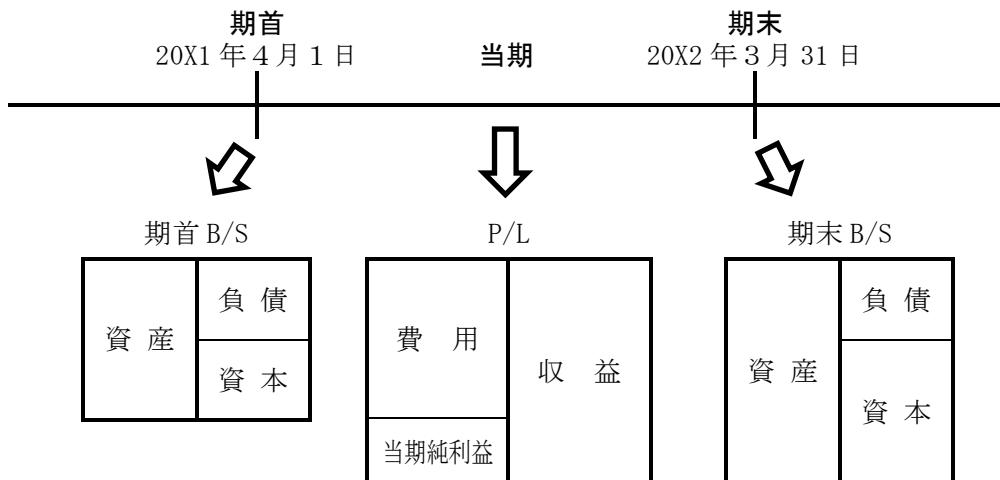
※1 貸借対照表等式：資産=負債+資本

※2 資本等式：資産-負債=資本

※3 資産を「総資産」、負債と資本を合わせて「総資本」ともいう。資産は企業が調達した資金の運用形態を示し、負債および資本は資金の調達源泉を示し、一時点の財政状態を貸借対照表で表示する。

定 義		勘定科目の例
資 産	プラスの財産・将来受け取る権利(債権)	現金・当座預金・受取手形・売掛金 未収金・商品・有価証券・前払金・貸付金 建物・備品・土地
負 債	マイナスの財産・将来支払う義務(債務)	支払手形・買掛金・未払金・預り金 前受金・借入金
資 本	会社の元手ともうけ	資本金・資本準備金・利益準備金 任意積立金・繰越利益剰余金

c) 利益計算の仕組み（損益法と財産法）



※1 損益法：収益－費用＝当期純利益

※2 財産法：期末資本－期首資本＝当期純利益

d) 簿記（複式簿記）と財務諸表

複式簿記とは、1つの取引を2つの側面から捉えて、簿記の5要素（資産・

負債・資本(純資産)・収益・費用）の増減を整理する。

(例) 商品 1,000 円を仕入れて、現金で支払った。

① 商品(資産)が 1,000 円増える→資産の増加→借方へ記入

② 現金(資産)が 1,000 円減る →資産の減少→貸方へ記入

(借)	商 品	1,000	(貸)	現 金	1,000
-----	-----	-------	-----	-----	-------